

有田川エコプロジェクト～地球にも町財政にもエコなまちづくり～（和歌山県有田川町）

取組概要

有田川町ではごみ減量と再エネ導入を軸にエコなまちづくりを進めている。ごみ集積場のステーション化にはじまる資源ごみ処理委託マイナス入札分を基金として積み立て、これをもとに再生可能エネルギー利用促進と廃棄物減量への補助制度を導入。そして町営二川小水力発電所や町施設での太陽光発電による売電収入も、地域とともに挑むエコに関する試みに充て、環境と経済が両立する循環型社会の構築に取り組む。

人口 26,919人 (H30.1.1現在)
担当 環境衛生課



住民・自治会の努力によりステーション化されたごみ集積場

取組の効果

資源ごみ収集運搬処理委託費が収入となっており、小水力発電で約5000万円、太陽光発電で約320万円の売電収入もある。また、コンポストによるごみ処理費用の削減や再生可能エネルギー導入による二酸化炭素排出量の削減も効果としてでている。

創意・工夫した点

ごみ分別の徹底とごみ集積のステーション化による収入を再生可能エネルギーの分野にも活かし、基金として積み立てる。それをさらなるエコの取り組みへつなげるという、循環型の仕組みを構築している。

他団体へのアドバイス

- ・二川小水力発電所は、多目的ダムの権利を持たない町が設置した発電所であり、他地域での導入の契機・先行例になるものと考えられる。
- ・ごみも地域の資源と捉えることで、廃棄物の処理費用の削減や自主財源化をすることも可能であると思う。



全国初の導入スキームで建設した町営二川小水力発電所